資料-4

機能軸強化の方向性

令和3年3月26日

1．機能軸強化の方向性
～①災害時の交通確保～

○洪水・津波浸水区域が広く分布し、大雪等の災害時に山陰道が通行止めになると、国道9号、国道431号等の東西方向の幹線道路の負荷が増大するなど移動に大きな支障が発生。
○昨今の災害の激甚化・頻発化の観点から、**災害時の交通を確保する強靭な高規格道路ネットワークの整備が早急に必要**。

災害時の交通を確保する強靭な高規格道路ネットワーク整備

1．機能軸強化の方向性
～②産業振興～

○中海・宍道湖圏域は、通勤・通学や物流などの企業活動において圏域内の結びが強く、鳥取県・島根県の経済を支える重要な地域であるにもかかわらず、移動の速達性・定時性、重大事故の増加等の課題が存在。

○高速ICのアクセス性の低い圏域北側は工業団地の分譲率が低迷していること等から、**産業振興に寄与する速達性・定時性・安全性の高い高規格道路ネットワークの整備が早急に必要**。

産業振興に寄与する速達性・定時性・安全性の高い高規格道路ネットワーク整備

1．機能軸強化の方向性
～③ゲートウェイ強化～

○境港は北東アジアとのゲートウェイとして近年港湾機能を拡充するなど高いポテンシャルを有しているにもかかわらず、高速ICのアクセス性が日本海側重点港湾でワースト1位。米子鬼太郎空港・出雲縁結び空港も同様にアクセス性に課題。

○今後の地域発展のためにも、**ゲートウェイ強化につながる空港・港湾のアクセス性を向上させる等の高規格道路ネットワークの整備が早急に必要**。

ゲートウェイ強化につながる空港・港湾のアクセス性を向上させる等の高規格道路ネットワーク整備

1．機能軸強化の方向性
～④周遊観光促進～

○コロナ禍によるクルーズ船寄港の取り止め、国内旅行の減少等、観光産業は危機的状況。出雲大社等の魅力的な観光地を有するものの周遊観光に課題。

○今後、クルーズ船の寄港、観光旅行が復調した際には、立ち寄り先及び観光地での滞在時間拡大が課題となることから、**観光地間の移動時間短縮と定時性を確保し周遊観光を促進する高規格道路ネットワークの整備が早急に必要**。

凡例
- 既存の高規格道路ネットワーク
- 必要な高規格道路ネットワーク

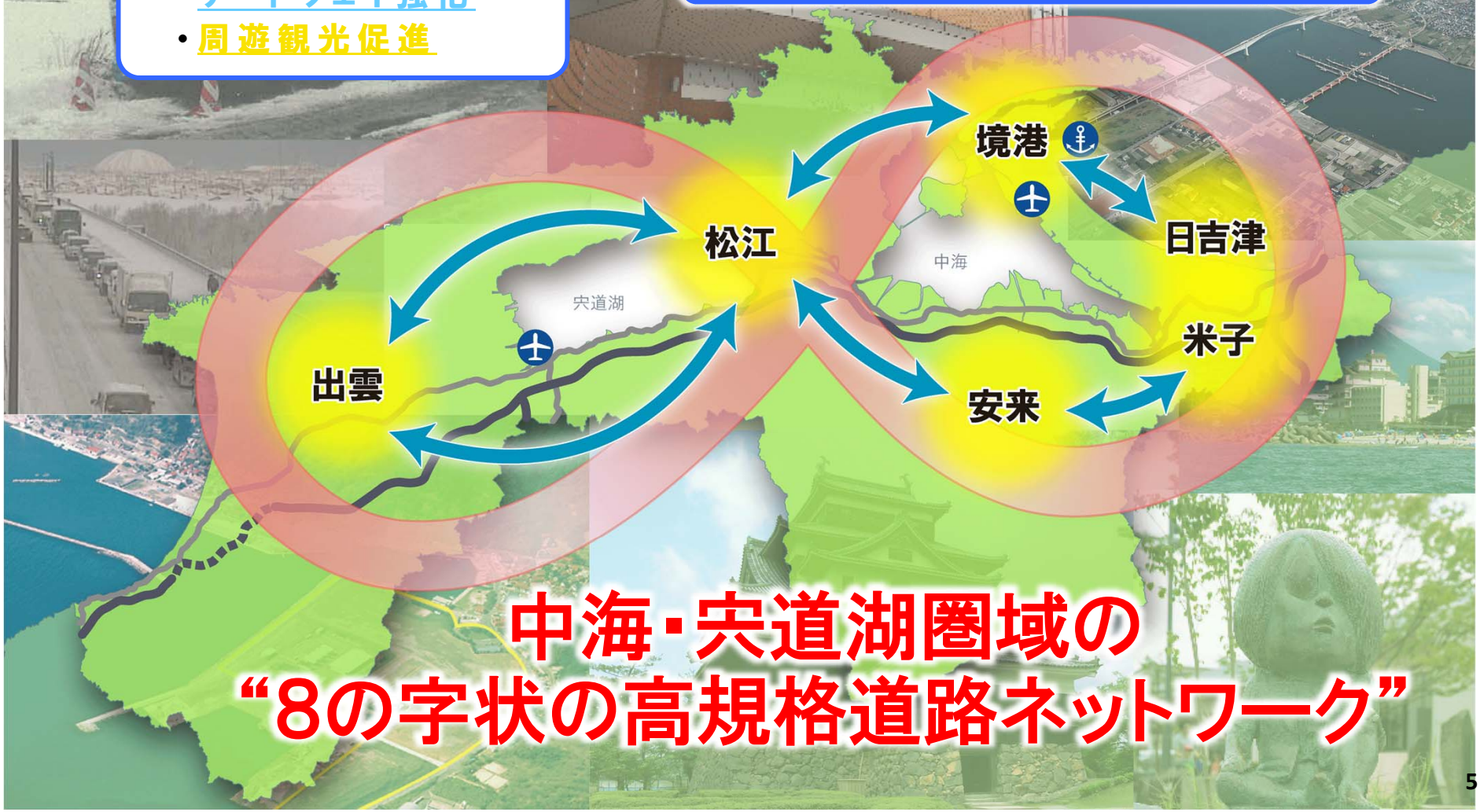
観光地間の移動時間短縮と定時性を確保し周遊観光を促進する高規格道路ネットワークの整備

2. 機能軸強化の方向性とりまとめ

中海・宍道湖圏域の
機能軸強化の方向性

- 災害時の交通確保
- 産業振興
- ゲートウェイ強化
- 周遊観光促進

中海・宍道湖圏域の将来像を実現させるには、
中海と宍道湖をつなげる8の字状に、
4つの機能軸強化となる高規格な道路を
早急に整備することが必要である。



中海・宍道湖圏域の
“8の字状の高規格道路ネットワーク”